



^{がわ} 左側の絵はデザイン画です。^が ^{がわ} ^{とうじき} 右側の陶磁器とそっくりですね。

絵のプロフィール

| | |
|----------------------------|---------------------------|
| さくひん 作品の名前 | ^{がじょう} デザイン画帖 |
| ^{ねんだい} えがかれた年代 | 1910年 (今から110年くらい前) |
| ^{ばしょ} えがかれた場所 | アメリカ |

^{とうじき} 陶磁器のプロフィール

| | |
|--------------------------------|--|
| さくひん 作品の名前 | ^{いろえ} ^{きんてんもり} ^{ばらもん} ^{そうみかびん} 色絵エナメル金点盛 薔薇文 双耳花瓶 |
| ^{ねんだい} 作られた年代 | 1910年ごろ(今から110年くらい前) |
| ^{ばしょ} 作られた場所 | 日本 |
| ^{ばしょ} 売っていた場所 | アメリカ |
| ^{うらがわ} 裏側についているマーク | |

ここで
Question!
クエスチョン



^{がじょう}
q.1 画帖ってなんだろう？

^{ぶぶん} ^{ちゅうい} ^{とうじき} ^{みくら}
q.2 金色の部分に注意して、絵と陶磁器を見比べてみよう。どうなっているかな？

^{かびん}
この絵と花瓶にかくされたなぞは？ うらを見てみよう▶



A.1 絵を折本にまとめたもの

「帖」は横長の紙をじゃばらにたたんだ、折本のことで。画（意味：絵や図）を「帖」にまとめたものなので、「画帖」といいます。もとは、一枚ずつがばらばらでした。



こんなふうになっています。

A.2 どちらも盛り上がっているところがある

デザイン画と陶磁器は、同じところが盛り上げてあります。

デザイン画は、陶磁器に絵をつける時の見本にもなりました。

1895(明治28)年(今から120年以上前)、ニューヨークに図案部(新しい絵がらを作り出すところ)ができます。そこでは日本人の絵師(デザイナー)たちが陶磁器の新しい図案(デザイン画)をえがいていました。船に乗り、日本の絵付け工場に届いたデザイン画を見本にして、職人たちは陶磁器を作りました。そのため、どのように絵を付けたらよいのかが一目でわかるように、金の盛り上げ技法を入れる部分は、デザイン画でも金色の絵具を盛り上げて表現してあります。

「ちょっと耳よりエピソード⑩」

ニューヨークの絵師たち

アメリカの流行をいち早く製品に取り入れるため、絵師たちはニューヨークで暮らしていました。おしゃれをして出かける女性のファッションを観察して、どんな色や模様がはやりそうかを研究していたといわれています。こうしてできたデザイン画は、外国用の陶磁器を作っている日本人たちから見ると、時代の先頭を行くものでした。



「ちょっと耳よりエピソード」は全部で24話あります。すべて集めてならべかえると、ひとつのお話になります。続きはwebでも読むことができます。